

令和元年 8 月 5 日

医薬品包装技術支援センター発足

創包工学研究会は、(株)イーズ の協力のもと、下記のような趣旨で医薬品包装技術支援センター(Pharmaceutical Packaging Technology Support Center)を設立することに致しました。

記

設立の目的

医薬品包装に関わる技術的問題点の解決・技術レベルの向上・技術者育成・包装適正化・生産性向上などを目的とする。

業務内容(概要)

別紙「医薬品包装技術支援センターの業務内容」参照

活動・費用

依頼内容により、秘密保持契約書・見積書などを作成致します。

(秘密保持契約書発行後に内容に関する詳細な打ち合わせを実施)

費用：社内対応(出張なし) 8万円/日/人

現場対応(出張) 10万円/日/人【交通費・宿泊費は別途】

例1 包装に関するクレーム対応 :3日程度を要すると仮定。

80,000円/日×3人工=240,000円(社内対応時)

例2 データ解析 :1日程度を要すると仮定。

80,000円/日×1人工=80,000円(社内対応時)

例3 医療機関からのバーコードに関するクレームに対する対応

1.バーコード検証器を医療現場に持参し現状調査 10万円/日×1人工(交通費別途)を要する。

2.医療機関との電話やメールでの調整(現状把握と問題点の確認)5万円/回を要する。

問い合わせ先

創包工学研究会 :〒101-0047

東京都千代田区内神田 1-18-11

東京ロイヤルプラザ 717号室

TEL : 03-3291-3219

Mail : gsp14754@nifty.com

協力 (株)イーズ :104-0033

東京都中央区新川 1-16-4 7F

Mail : shien@easejp.com

以上

医薬品包装技術支援センターの業務内容

カテゴリー		支援可能項目
法的規制	表示・識別を含む	薬機法、日本薬局方、GXP、バリデーション、クオリフィケーションなど
包装形態・容器 (個装～梱包)	包装技法	防湿包装、遮光包装、緩衝包装、多重包装、環境調整包装など
	情報伝達	画像認識、バーコード、RFIDなど
製造	機械及び機械適性 ⇒※1	形状、寸法、質量、成形性、ヒートシール性、熱間シール性、滑性、帯電性、粘着性、接着性、弾性、ブロッキング性、熱収縮性、カール性、輸送保管性、形状保持性、折目保持性など
	新技術 (合理化)	IoTなど 連続化など
製品	品質性 ⇒※2	規格適合性、品質恒常性など
	使用性	開封性、取出性、分割性、スクイズ性、携帯性、誤用防止性、改ざん防止性、読解・情報伝達性、印刷適性、誤読防止性、バリアフリー性など
	クレーム及び改善要望	クレーム・失敗などへの対処 技術的検討への協力、医療機関・流通業者のニーズ把握など
再生医療	温度管理	耐冷凍性、耐温度変化性、トレーサビリティなど
流通	保管・輸送	GDP適合性、偽造防止性、温度マッピング、破損防止など
	流通システム	外部委託、冷凍保存容器、卸及び医療機関のニーズ・動向調査
SDGs (環境)	廃棄処理性	燃焼性、有害ガス発生性、自然崩壊性、減量化など
	材質適性	脱プラスチック化、モノマテリアル化など
共通化		標準化など
共同開発		機械・材料・医薬品メーカー間の協力
技術サービス	文献・資料	必要に応じて国会図書館などの利用
	データ解析	実験計画法、多変量解析法、ワイブル解析法、階層分析法など
その他	関連事項	

※1. 機械及び機械適性

物理的事項	寸法、形状、質量、寸法安定性、引張強度・引張伸び、耐圧縮性、破裂強度、硬度、永久変形性、引裂強度、衝撃強度、耐折強度、摩耗強度、耐ピンホール性、緩衝特性、環境応力亀裂発生性、耐熱性、耐寒性、再密封性、断熱性、遮光性、防虫性、防微生物性、耐γ線性、耐電子線性、水蒸気透過性、ガス透過性、透水性、香気・臭気透過性、印刷適性など
化学的事項	溶出性、耐水性、耐光性、耐薬品性、耐溶剤性、耐油性、耐酸性、耐アルカリ性、耐候性・耐劣化性、製剤との相互作用、無毒性など

※2. 品質性

品質性	光沢、透視性、白色性、平滑性、形状、サイズ、重量、印刷適性、購買訴求性など
-----	---------------------------------------

令和元年 8 月 8 日

医薬品包装技術支援センター

医薬品包装技術支援センター問い合わせ票

氏名		
企業名		
所属		
電話番号		
Fax 番号		
Mail Address		
住所		
現 状	包装形態 材質など	
	問題点 または 解決したい こと	
その他		